

平成28年度国際観光専門学校名古屋校自己点検・評価報告書

1. 学校の教育目標

3つの教育理念:「人間教育」・「実践教育」・「国際人教育」

3つの信頼の獲得:「学生」・「保護者と出身校」・「社会」

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- * イベント参加者歩留率40%以上に拘り、出願数125名(観光85名、医療40名)以上必達。
一体感を持って1名を大切に
- * 外国人留学生の受け入れ態勢整備。
全職員で担任をフォローし、邦人以上に親切且つ丁寧な対応を。
- * 保護者との連携を強化する
- * 校内美化の組織的な推進。

3. 評価基準

適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
4	3	2	1

4. 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等をふまえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	3

① 課題

国際化が進展するなかで、業界のニーズに対応できる人材を育成する教育内容を構築する。

② 今後の改善方策

体験入学、ホテル見学、ワールドフェスティバル等の場で学校の理念をお伝えすると共に、業界関係者、講師の方々等との接触を図ることにより、改善の方策を探っていく。

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

情報共有化の為にハードはあるが、蓄積された情報を、それぞれの職員が十分に活用するに至っていない。

② 今後の改善方策

情報の入・出力にあたって、職員の処理能力の向上を図る教育・訓練を行い、効率的な運用を図る。

③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

昨年に引き続き関連分野に必要な知識・技能などを修得するための研修や、教員の指導力育成など資質向上のための取組を継続する。

② 今後の改善方策

委員会各委員との意見交換による情報収集を図ると共に現場・現業を体験学習する事により指導力育成を進める。

③ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

担任、キャリアカウンセラーおよび心理カウンセラーを配置して退学率低減に取り組んだが、目立った成果が得られなかった。

② 今後の改善方策

昨年度の施策を継続すると共に、保護者との連携をより深めること及び学生との面談を重ねることにより成果をあげたい。

③ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

クラブ・サークル(課外活動)に対する支援が十分でなかった。

② 今後の改善方策

自治会と連携し、クラブ・サークルをつくりやすい環境を整備する。

③ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

① 課題

昨年に引き続き、実習施設の整備途中である。

② 今後の改善方策

OA機器を入れ替える。

③ 特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

入学者増につなげるための策や方法がマンネリ化になっている。

② 今後の改善方策

目標達成に向けて、学校の講師と新しいイベントに取り組む。

③ 特記事項

(8) 財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるのか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

安定的な授業料収入が確保できる体制を作り上げる。

② 今後の改善方策

邦人学生とともに留学生募集に尽力する。

③ 特記事項

安定的な授業料収入を確保するとともに、予算の有効活用を図る。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

新入職員に対しての個人情報管理教育が不足している。

② 今後の改善方策

職員研修の場を設け個人情報管理のあり方を再確認する。

③ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

高校のキャリア教育実施にあたり、本学が高校とホテルとの間で仲介役となり、研修プランの策定・実施に協力している。また、中学生のキャリア教育については、学校見学を受入れて専門学校の概況を解説している。

(11) 国際交流(必要に応じて)

評価項目	評価
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

国際交流を深めるため、日本語学校へ出張講義を行う。

5. 重点目標達成に関する自己評価

* イベント参加者歩留率40%以上に拘り、出願数125名(観光85名、医療40名)以上必達
一体感を持って1名を大切に

- ・ 全体の増員数が目標に達しなかった。歩留率が前年(31%)より5%上がった。

* 外国人留学生の受け入れ態勢整備

- ・ 全職員で担任をフォローし、邦人以上に親切且つ丁寧な対応が出来た。

* 保護者との連携を強化する

- ・ 一部の必要と思われる学生に対しては保護者と連絡、面談を実施し、連携を強化した。

* 校内美化の組織的な推進

- ・ 徐々にではあるが校内美化が進んでいる。